

平成 22 年 5 月 21 日

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

## 当社ファンドの基準価額下落について

本日、当社の下記ファンドにおいて基準価額が大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 基準価額および下落率（5月21日現在）

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率
DIAMロシア株式ファンド	7,983	556	6.51%
DIAM世界リートインデックスファンド(毎月分配型)	3,775	227	5.67%
DIAM先進国金融株投信 0905	9,130	524	5.43%
DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)	3,710	209	5.33%
DIAM ワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)	3,320	187	5.33%
DIAM ワールド・リート・オープン(ラップ向け)	4,218	236	5.30%
DIAM ワールドREITアクティブファンド<DC年金>	4,494	249	5.25%
DIAM外国株式パッシブ・ファンド	13,085	702	5.09%
DIAM外国株式インデックスファンド<DC年金>	11,800	633	5.09%

当資料は5枚ものです。P.5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号  
 加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

## 2. 市場の動向

### 【外国株式】

#### 欧米

20日の外国株式市場は大幅に下落しました。また、主要通貨に対して円が独歩高となりました。

18日の欧州株式市場の取引終了後にドイツ当局が国債などの投機的な空売りを一時的に禁止すると発表しましたが、EU（欧州連合）各国で事前の調整が行われなかったことに対して、EUでの足並みが揃わない状況が明らかになっていることから、市場心理の悪化を招きました。加えて、20日の朝に発表された米国の週間の新規失業保険件数が市場予想の44万件に対して47万1千件と大幅に上回ったことから、米国の雇用回復基調の定着に疑問を浴びせた格好となったことや、同日の夜に採決を控えていた米国の金融規制法案の金融機関に対する影響への懸念が高まったことなどの悪材料を要因として、20日の外国株式市場はほぼ全面安となりました。

業種別には、金融関連、素材やエネルギーといった資源関連、レジャーやメディア、輸送や資本財といった景気敏感関連の下げ幅が相対的に大きなものとなりました。

主要指数	終値 (5月20日)	5月19日比	下落率
M S C I コクサイ・インデックス（配当込み）	4,022.614	137.321	3.30%

（基準価額への反映を考慮して前日の値および下落率を表示しております。）

#### ロシア

20日のロシア株式市場は、下落する展開となりました。RTS 指数は 5.55%、MICEX 指数は 4.31%、ロンドン市場に上場する優良銘柄で構成される DR（預託証券）指数が 6.31%とそれぞれ下落しました。また、為替市場において主要通貨に対して円高が進行しました。

主要な商品価格は下落圧力に押される展開となりました。ロシアにとって重要な歳入源である原油が1バレル=70ドルを割り込んで推移していたことも影響して、ロシア株式市場は終日軟調な動きに終始しました。

主力銘柄の動きとしては、原油・天然ガス関連銘柄のガスプロムが 6.41%、ロスネフチが 5.76%、ルクオイルが 5.51%とそれぞれ下落しました。また、鉄鋼大手のノボリペツク製鉄所が 10.52%と下落しました。一方、銀採掘大手ポリメタルは +1.79%と底堅い動きとなりました。金融関連銘柄では、ズベルバンクが 4.69%、ロシア連邦外国貿易銀行（VTB）が 6.38%と下落しました。

主要指数	終値 (5月20日)	5月19日比	下落率
M S C I ロシア 10-40 指数（配当込み・為替ヘッジなし）	1,182.677	79.632	6.31%

（基準価額への反映を考慮して前日の値および下落率を表示しております。）

当資料は5枚ものです。P.5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号  
 加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

## 【外国リート】

株式市場と共にリート市場が下落しました。また、為替市場でリスク回避姿勢から豪ドル、カナダドルといった通貨を中心に大きく円高が進みました。

この背景として、欧州の財政危機に対する懸念や、景気鈍化の懸念が続いている状況の中、18日に発表されたドイツの空売り規制が嫌気され、また米国での金融規制強化に対する懸念が加わり、投資家のリスク許容度が低下したことがあります。

米国リート市場は、これらに加えて、景気先行指数の下落や新規失業保険申請件数が予想よりも悪かったことも嫌気され、リスク縮小、利益確定の動きから3月以降大きく上昇していた銘柄や小型銘柄を中心に下落しました。

欧州リート市場は、英国リートの良好な決算内容やブローカーのレーティング引き上げ等の好材料も見られましたが、投資家のリスク縮小の動きに押されて下落しました。

アジアリート市場は、シンガポールのGDP（国内総生産）見通しの引き上げ等の好材料があったものの、外国人投資家によるリスク回避・縮小の動きから小幅な下落となりました。

主要指数	終値 (5月20日)	5月19日比	下落率
S & P 先進国 REITインデックス	460.27	17.84	3.73%

(基準価額への反映を考慮して前日の値および下落率を表示しております。)

## 3. 今後の見通し

### 【外国株式】

#### 欧米

世界経済と企業業績の回復を材料に上昇してきた世界の株式市場ですが、既に回復を相当程度織り込んだ水準にあると考えます。欧州の財政懸念は短期的な解決は難しく、やがて財政状況の悪い全ての国へ更に波及するリスクをはらんでいます。また、米国の金融規制法案を受け、米国の銀行に対する収益抑制懸念が高まると同時に、資本強化のために更なる増資の必要性が生じる可能性も否定できません。

これまでの世界経済の回復は各国政府・中央銀行による財政・金融政策によるところが大きく、今後こうした政策面の後押しが段階的に縮小する中で持続的な回復軌道を維持できるか不透明な部分があることも事実です。こうした状況下では株式市場の上値は限定的であると考えます。

#### ロシア

原油価格が、直近は下落したものの、2008年の金融危機直後に比べると比較的高水準で推移していることなどから、ロシア経済は回復局面にあり、ロシアの株式市場を取り巻く環境も改善してきています。一方で、ロシアの重要な貿易パートナーである欧州において、一部の国々の財政状況の悪化が景気回復の腰を折る可能性が浮上しており、不透明感が払拭できない状況です。加えて、2009年以降のロシアの株式市場の急上昇を受けて利益確定による売りなども出やすい状況であり、当面は上下に変動が大きい

当資料は5枚ものです。P.5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

市場環境が続くと予想しています。

### 【外国リート】

短期的には、ギリシャ救済をめぐる各国議会での動向、金融規制に対してのユーロ諸国の足並みの乱れ、米国での金融規制改革の行方が意識されています。また、各国当局の為替介入を含めた新たな対策が出た場合には変動が大きくなることが予想されます。

米国リート市場では、個別リーートの1-3月期の業績は改善傾向にあり、中には市場予想以上に改善を示し上方修正を行うリートも見られました。一方で、欧州の債務問題を巡る信用市場の混乱に加え、金融規制強化への警戒もあり、神経質な展開が続くことが予想されます。

欧州でも、リーートの業績発表は不動産価格の安定化から改善傾向を示しています。しかし、債務問題の動向や財政赤字の削減に伴う景気への悪影響に対する懸念、金融規制改革の動向により変動の大きい展開が続くと予想されます。

オーストラリア、アジアでは、失業率の低下やシンガポールでのGDP見通しの上方修正など、域内景気が好調なことから、リート各社の見通しは、オフィスの空室率や小売物件の賃料の回復を想定している状態です。一方で、中国の金融引き締めによる不動産価格や不動産売買市況への影響が懸念されており、投資家のリスク許容度の動向次第で変動が大きい展開が予想されます。

以 上

---

当資料は5枚ものです。P.5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商 号 等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

100521投信業管311505-臨時開示-1

## [お申込みに際しての留意事項]

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式・公社債及び不動産投信(REIT)等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては 投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧下さい。

### 投資信託に係る費用について

#### ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に直接ご負担いただく費用	: 申込手数料	上限3.675% (税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	: 信託財産留保金	上限 0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	: 信託報酬	上限 1.9225% (税込)
その他費用	: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。 投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。	

#### (ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

## [本資料のお取扱いについてのご注意]

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式・債券及び不動産投信(REIT)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料における内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

### 投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料は5枚ものです。P.5の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

## DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会